

アクションプログラム

1 音楽のまち・かわさきの推進 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

「音楽のまち・かわさき」推進協議会を中心に、民間活力を活かした音楽のまちづくりを推進

- ・「音楽のまち・かわさき」推進協議会を中心に様々なメディアによる情報発信やCDの製作・販売、人材育成等により、「音楽のまち・かわさき」のより一層の定着を図りました。
- ・「アジア交流音楽祭」(4月17日及び18日開催・来場者90,000人、昨年度85,000人)、「交流の響き」(9月18日開催・来場者1,300人、昨年度1,200人)を開催しました。
- ・イギリス・シェフィールド市との友好都市提携20周年を記念して、シェフィールド写真展(3月5日～14日)を開催しました。(3月14日のコンサートについては東日本大震災の影響により中止)
- ・東京交響楽団による巡回コンサートについて、市内各地で4回実施しました。(3月24日の公演については東日本大震災の影響により中止)
- ・2011年度に行う瀋陽市との友好都市提携30周年記念事業として交流コンサート等の実施に向けた調整を行いました。
- ・中高生の吹奏楽団「ヤングジョイフルバンド」結成のため前年度参加校に新規参加校を加えてクリニックを行い(129人参加)、8月23日にオーディションを実施し、メンバーによる練習を7回行いました。1月16日には子どもの音楽の祭典が開催され、公募による音楽コンテスト本選とヤングジョイフルバンドの成果発表を行いました。
- ・ミューザ川崎シンフォニーホールにおいて東京交響楽団による子どものためのオーケストラ鑑賞を9月14日及び15日に開催しました。(70校参加、6,856人参加)

川崎シンフォニーホールを拠点とする「音楽のまち・かわさき」の推進

- ・フェスタサマーミューザKAWASAKI 2010(31,661人来場)を開催しました。
- ・名曲全集、ランチ&ナイトコンサートを月1回程度定例的に開催することができました。
- ・海外オーケストラ公演を11月5日と11月21日に開催しました。
- ・モーツァルト・マチネ・シリーズを3回開催しました。(3月19日の公演については、東日本大震災の影響により中止)
- ・各種公演等により川崎シンフォニーホールの知名度向上を図ることができました。

【課題と第3期実行計画における取組】

- ・「音楽のまち・かわさき」推進協議会に対して、情報発信・人材育成やその他民間主体の活動に向けて更なる支援を行っていきます。
- ・国際音楽文化交流事業として、中国・瀋陽市の友好都市提携30周年を記念した文化交流事業を実施します。また、東京交響楽団による巡回コンサートも実施していきます。
- ・東日本大震災の影響により被災した川崎シンフォニーホールの音楽ホールの復旧については、平成24年度末の工事完了を目途に取り組んでいきます。ホール休館中も、音楽文化の裾野を広げ将来の聴衆を育てるフェスタサマーミューザ等の多彩な自主事業を展開するとともに、本市フランチャイズオーケストラの東京交響楽団による公演など、「音楽のまち・かわさき」の灯を絶やさない取組をすすめていきます。

2 ホームタウンスポーツの振興 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

ホームタウンスポーツ推進パートナーの連携による、川崎のアピール・魅力づくり

- ・ホームタウンスポーツ推進パートナーによるふれあいスポーツ教室やホームゲーム等への市民招待を継続して実施しました。小中学生をはじめ参加者には大変好評でした。
- ・ポスターやチラシ作成・配布、ビデオ映像の放映など広報活動を行いました。

川崎フロンターレの支援と応援を通じたスポーツ振興・青少年の健全育成

- ・市民クラブ『川崎フロンターレ』と連携して、市民の応援体制の充実を図ることができました。
- ・地域のこどもたちを対象としたサッカー教室など地域と密着した活動を通じて本市のスポーツ振興・青少年の健全育成などを推進することができました。

アメリカンフットボールの魅力を活かした活力あるまちづくり

- ・選手・チアリーダーが地域イベントに参加し、イベントの盛り上げのほか、アメリカンフットボールの広報・PRを実施しました。
- ・フラッグフットボールの普及を推進し、市内小中学校での取組が年々増加しました。
- ・川崎駅周辺の商店の割引情報とアメフット情報を掲載した「アメフット×商店街マップ」を作成、配布するなど、アメフットを地域活性化につなげる取組を進めました。

総合型地域スポーツクラブの育成を通じた、地域に根ざしたスポーツの振興

- ・市内の総合型スポーツクラブは新たに幸区に設立されたことにより、市内5区において立ち上げることができました。また、川崎区、宮前区において、総合型スポーツクラブ設立準備組織を立ち上げたほか、市内のスポーツに関する地域資源を広範囲で有効活用する、広域型スポーツクラブの設立に向けた支援を行いました。
- ・スポーツクラブ設立に関しては助成金の活用等の支援・指導を行うことにより、市民の自主的な活動を促進することができました。

多摩スポーツセンターの整備

- ・PFI事業者に対する事業モニタリングや住民説明会を行い、多摩スポーツセンターがオープンしました。

「スーパー陸上競技大会」の開催と連携したスポーツ振興

- ・スーパー陸上競技大会を毎年開催することができ、市民への陸上競技に対する関心を高めることができました。
- ・プレイイベント、サブイベント、アフターイベントを実施し、多くの市民の参加を得て、誰でも気軽にできるスポーツとして啓発を促すことができました。

【課題と第3期実行計画における取組】

- ・ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組を継続的に実施し、川崎の魅力づくりを図ります。
- ・川崎フロンターレへの支援と応援を継続し、他の事務事業と連携なども視野に入れ「川崎」の魅力発信、イメージアップ及び都市ブランドの向上を図ります。
- ・競技団体、地域、市民と連携して、アメリカンフットボールを地域の活性化、市のイメージアップ、青少年の健全育成などにつなげる取組を進めます。
- ・総合型地域スポーツクラブの育成及び設立に向けて、助成金の活用等を含めて支援を行いながら、市民活動の拡充に向けた育成支援を行う必要があります。
- ・大規模陸上競技大会を中心としたイベントの内容や広報を工夫することにより多くの市民の参加、観戦を図ります。

3 多摩川プランに基づく重点施策の推進 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

多摩川における豊かな河川空間の創出をめざす「多摩川プラン」の推進

- ・水防センターは市民との協働により来館者を増やすことができました。
- ・市内3校目の水辺の楽校を開校することができました。
- ・多摩川エコミュージアムは、これまで、NPO法人と3ヵ年（2008年度～2010年度）の協働の協定書に基づき、市民の目線に立った事業を実施することができ、多摩川の魅力発信ができました。
- ・大師河原地区における植樹については国のスーパー堤防事業の遅れや内容変更が生じたため、計画を変更し、一部区間の植樹を実施しました。
- ・沿川市街地の整備などにあわせた植樹を民間事業者等と調整を行い植樹を実施することができました。
- ・「川崎市多摩川プラン推進会議」による「多摩川プラン」の施策の進行管理・評価等を行いました。
- ・多摩川プランの重点エリアの設計・整備等を行いながら、重点エリアの一つでもある二子橋周辺のバーベキュー問題の対策を進めるために社会実験を実施し、実施結果を踏まえた「多摩川河川敷バーベキュー適正利用計画」を策定しました。
- ・多摩川景観形成ガイドラインにおける重点地区の基準を定め、景観法や地区計画における形態意匠条例の届出処理などの機会をとらえて、景観の誘導を行いました。

【課題と第3期実行計画における取組】

- ・水辺の楽校3校の連携と増加する市民ニーズに対応するための体制づくりの検討が必要となってきました。
- ・「多摩川エコミュージアムプラン」のこれまでの経過を踏まえ、多面的な事業を市民協働で行っていく必要があると考えています。
- ・大師河原周辺エリアの植樹を進めるため、治水事業・沿川市街地整備にあわせた並木の創出については国土交通省や関係機関との協議を引き続き進める必要があります。
- ・社会実験を踏まえて策定した「多摩川河川敷バーベキュー適正利用計画」に基づき、高津区瀬田地先の河川敷において、バーベキュー利用の有料化を進めていきます。
- ・多摩川景観形成ガイドラインを活用しながら、景観形成を図っていきます。

4 地域の魅力発信・活性化と連携した文化芸術振興 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

文化芸術振興計画に基づく、文化芸術振興施策の総合的・計画的な推進と市民の創造的活動による、文化芸術を活かした個性豊かな地域づくり

- ・文化芸術振興計画に基づく事業の進捗状況を管理し公表しました。
- ・文化芸術振興会議による文化アセスメントの検討と実施を行いました。
- ・市民参加による美術展、コンサート等を開催しました。

新百合ヶ丘駅周辺地区を中心とした芸術を通じた魅力と活力あるまちづくり

- ・青少年舞台芸術活動をはじめとした芸術文化の創造、発信及び交流を促進する多彩な事業や、アーティストを支援する取組等により、芸術文化の創造、発信及び交流を促進し鑑賞の機会を提供する施設としての取り組みを、指定管理者により実施しました。
- ・市民が芸術を身近に享受できる機会をつくり、市民全体の芸術活動を促進するために、市域全体により良い効果をもたらす文化芸術を活かしたまちづくりを推進しました。また、芸術祭を支える市民ボランティアの養成を行うなど、文化芸術を活かしたまちづくりを支える人材育成を行い、市民主体の芸術活動を促進しました。
- ・市民ボランティアがかかわり、市民の手づくりによる「KAWASAKI しんゆり映画祭」を毎年開催したことにより、個性豊かな地域づくりに貢献することができました。

アクションプログラム

- ・「しんゆり・芸術のまち」PR委員会、「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムからNPO法人しんゆり・芸術のまちづくりへと事業展開が進みました。

藤子・F・不二雄ミュージアムの整備

- ・市と藤子プロ等との間で締結した覚書や、基本計画など踏まえ、平成23年9月3日開館に向けて、着実に事業を推進しました。
- ・藤子プロ等が建設する建物の負担付きの寄附の受納についての議案、公の施設の設置条例、指定管理者の指定議案について、議会の議決を得ました。
- ・藤子プロ等が行う建物工事について推進を図るとともに、本市が行う敷地内及び周辺の基盤整備に着手しました。
- ・イベントを開催するなど、ミュージアムの広報を行いました。

青少年科学館の改築整備

- ・実行計画に基づく基本設計・実施設計・工事着手に取り組み、事業を遂行しました。

映像関連の民間の動きとの連携による映像を核としたまちづくりの推進

- ・「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動を積極的に支援し、様々な事業を実施しました。
- ・フィルムサポートの立ち上げの支援を行い、立ち上げ後は連携した事業を実施しました。
- ・映像関連ビジネスネットワーク化モデル事業を実施しました。
- ・アジアとの連携事業を実施しました。

【課題と第3期実行計画における取組】

- ・文化芸術振興計画における事業等の進捗管理や文化アセスメントの実施を継続していきます。
- ・アートセンターの管理運営については、引き続き民間活力による芸術文化の創造拠点として積極的な展開をしていくことが必要です。
- ・引き続き「しんゆり・芸術のまち」の情報発信を行うことで地域ブランドの定着化を図ることが必要です。
- ・藤子・F・不二雄ミュージアムの敷地内及び周辺基盤の整備の完了、ミュージアムの認知度を高めるための広報の実施、指定管理に関する協定書の締結等の取組を進めます。また、開館後は、個性と魅力あふれる本市の新たな魅力発信拠点として、指定管理者による効率的・効果的な運営を推進し、市民の文化芸術活動の振興及び本市の魅力の増進に寄与します。
- ・青少年科学館は（仮称）自然学習棟建設工事の実施や本館改修の着手など2012年度春開館に向けた取組を行うとともに、リニューアルオープンに伴うプラネタリウム観覧料の見直しを行います。
- ・2011年4月に開学の日本映画大学と連携した人材育成などを行いながら「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動を積極的に支援する必要があります。
- ・映像のまち・かわさきとして取り組んできた事業を、庁内の推進体制を見直しながらより戦略的に推進していきます。

5 シティセールスの推進と観光振興 【達成状況区分 2*】

【主な実施結果】

産業を核とした地域観光資源の創出・拡充と多様な情報発信

- ・パンフレット・ホームページ・携帯サイトなど多様な媒体を活用し、情報発信を強化するとともに、主要駅（川崎・登戸）に配置する観光情報端末により、来訪者に対する観光情報案内を実施しました。
 - ・外国語パンフレット・ホームページの作成、VJC 事業の実施、羽田空港 6 縣市観光情報センターの運営などにより、外国人観光客増に向けた取組みを実施しました。
 - ・市民祭りを開催し、地域の活性化を図りました。
 - ・民間事業者による産業観光ツアーの事業化については、2011 年度以降の予定でありましたが、2 年前倒しの 2009 年度から事業化することができました。
-
- ・当初の予定になかった長八海運と連携した「川崎工場夜景屋形船クルーズ」を 2010 年 1 月から、JTB 首都圏川崎支店とはとバスと連携した「川崎工場夜景バスツアー」を 2010 年 4 月から定期運航（定期運行）を開始し、大人気となり計 5,000 人以上の観光客が参加しました。
 - ・産業観光ツアーや川崎産業観光検定など川崎の産業観光の取組が高く評価され、2008 年度には日本観光協会等が主催する第 2 回産業観光まちづくり大賞で銀賞を受賞するとともに、川崎の産業観光の取組がテレビ・ラジオ・雑誌・新聞で多数取り上げられ、川崎市の PR に大きく貢献しました。
 - ・川崎の産業観光の取組が全国の先進事例として紹介されるまでに大きく成長しました。

さまざまなメディアの活用や民間事業者との連携によるシティセールスの推進

- ・パブリシティ活動を軸とした積極的な情報発信を実施し、広告換算額で毎年 10 億円を超えるメディアへの露出を得ることができました。
- ・イメージアップ事業認定制度等により民間と連携した魅力づくりや情報発信を進めました。
- ・情報の多言語化を進め、海外向けのパブリシティ活動を積極的に行うなど、海外向けの情報発信を強化しました。

【課題と第 3 期実行計画における取組】

- ・川崎市観光協会連合会への指導、助言を行い、関係団体との連携を支援していきます。また、川崎市観光協会連合会の自主的な活動基盤の強化を推進していく必要があります。
- ・今後も産業観光検定を実施し、産業ガイド養成講座へ結びつけ、さらに民間主体の産業観光活性化をしていきます。産業観光を推進することにより、川崎市の魅力を内外へ発信していきます。
- ・パブリシティ活動を軸とした積極的な情報発信などを今後継続、強化することで都市イメージの向上を図りながら、情報ごとに対象を絞り込み、より効果的な情報発信を行うことや、インターネット等を活用した新しい発信手法の検討などが必要となっています。

施策計画

施策計画名	現状	目標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

アクションプログラム：音楽のまち・かわさきの推進【達成状況区分： 3 】

施策計画名	現状	2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降	事業推進
○ 音楽のまちづくりの推進 「音楽のまち・かわさき」推進協議会を中心に、民間活力を活かした音楽のまちづくりを推進します。また、市内の身近な場所での良質な音楽の提供と交流による、音楽のまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「音楽のまち・かわさき」推進協議会の支援 ●「アジア交流音楽祭」、「交流の響き」等の開催支援 ●民間活力を活かした事業推進 ●「姉妹都市リエカ市との提携30周年」、「姉妹都市ウーロンゴン市との提携20周年」記念コンサートの開催 ●東京交響楽団による巡回コンサートの開催 ●アマチュア演奏家による「音楽のまちコンサート」の開催 ●「子どもの音楽の祭典」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●「音楽のまち・かわさき」推進協議会の支援 ●「アジア交流音楽祭」、「交流の響き」等の開催支援 ●民間活力を活かした事業推進の拡充 ●友好港ダナン市が「アジア交流音楽祭」に参加 ●東京交響楽団による巡回コンサートの開催 ●アマチュア演奏家による「音楽のまちコンサート」の開催 ●「子どもの音楽の祭典」の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ●「音楽のまちづくり」の施策の総合的評価等を踏まえた検討 ●国際交流コンサートの開催

第2期実行計画 実施結果

達成状況区分
3

・「音楽のまち・かわさき」推進協議会による音楽のまちづくりの推進に向けた情報発信や人材育成等の支援を行いました。
 ・民間主体の事業を支援することにより「音楽のまち・かわさき」のイメージの定着、浸透をさせることができました。
 ・音楽(コンサート等)を通じ、姉妹・友好都市等との文化交流が図ることができました。
 ・東京交響楽団による市内巡回公演を実施することにより、日頃コンサートホールに足を運ぶことや音楽に接する機会の少ない方々に、良質な室内楽演奏を楽しんでもらう機会を創出しました。
 ・子どもたちが音楽活動に親しむ機会が増え、裾野を広げることができました。
 ・子どもたちの技術向上を目指した機会をつくることで、「音楽のまち・かわさき」事業の推進が図られました。

施策計画名	現状	2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降	事業推進
○ 川崎シンフォニーホールの運営 「音楽のまち・かわさき」の中核施設として市民に良質な音楽を提供するとともに、国際的知名度の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「フェスタサマーミュージア」の開催 ●海外オーケストラによる演奏会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●「フェスタサマーミュージア」の開催 ●海外オーケストラによる演奏会の開催 				<ul style="list-style-type: none"> ●ミュージア川崎シンフォニーホール開館5周年事業の実施

第2期実行計画 実施結果

達成状況区分
3

・クラシックファンの裾野を広げる公演から国内外のオーケストラによる公演を実施し、川崎市の文化振興を図るとともに川崎シンフォニーホールの評価は国際的にも高まり、魅力あるホールづくりに貢献することができました。
 ・指定管理者に対して適切な指導を行うとともに、連携・協力して高品質なサービスの提供を行い、多くの聴衆や演奏家等からも高い評価を得ることができました。

施策計画

施策計画名	現状	目標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
アクションプログラム：ホームタウンスポーツの振興【達成状況区分： 3】					
○ ホームタウンスポーツの推進 ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組を進め、川崎のアピール・魅力づくりを図ります。	●ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組の推進(7団体、1個人認定)	●ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組の推進			事業推進
第2期実行計画実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンスポーツ推進パートナーによるふれあいスポーツ教室やホームゲーム等への市民招待を継続して実施しました。小中学生をはじめ参加者には大変好評でした。 ポスターやチラシの作成・配布、ビデオ映像の放映などの広報活動を行いました。 			
○ Jリーグクラブの支援 川崎フロンターレの支援と応援を通して、市民の連帯感を深めるとともに、スポーツ振興・青少年の健全育成などを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●市制記念試合等に市民招待の実施 ●小・中学校での巡回サッカー教室の開催 ●川崎フロンターレの区民祭等への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●市制記念試合等に市民招待の実施 ●小・中学校での巡回サッカー教室の開催 ●川崎フロンターレの区民祭等への参加促進 			事業推進
第2期実行計画実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> 市民クラブ『川崎フロンターレ』と連携して、市民の応援体制の充実を図ることができました。 地域のこどもたちを対象としたサッカー教室など地域と密着した活動を通じて本市のスポーツ振興・青少年の健全育成などを推進することができました。 			
○ アメリカンフットボールを活用したまちづくりの推進 競技団体、地域、市民と連携しながら、アメリカンフットボールの魅力を活かした活力あるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」の開催 ●日本アメリカンフットボール協会との協定締結 ●アメフトを活用したまちづくり懇談会の設置 ●アメフトを活用したまちづくりに向けた基本的考え方の検討 ●フラッグフットボール普及促進等による青少年の健全育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎をアメフトの拠点にするための取組の検討及び関係機関との調整 ●イベントへの選手・チアリーダーの参加などアメフトを活用した地域活性化策の推進 ●フラッグフットボール普及促進等による青少年の健全育成の推進 ●アメフトの普及方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎をアメフトの拠点にするための取組の実施 ●アメフトの普及方策の実施 		事業推進
第2期実行計画実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> 選手・チアリーダーが地域イベントに参加し、イベントの盛り上げのほかアメリカンフットボールの広報・PRを実施しました。 フラッグフットボールの普及を推進し、小学校での取組校が年々増加(平成20年度55校が平成22年度87校)するなど、小中学生の交流大会も継続的に実施しました。 			
○ 総合型地域スポーツクラブの育成 地域住民が主体となって運営する総合型地域スポーツクラブを育成して、地域に根ざしたスポーツ振興を推進します。	●クラブ数 4クラブ	●クラブ数 4クラブ	●クラブ数 5クラブ		●各区で展開
第2期実行計画実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> クラブ設立に関する支援・指導により、市民の自主的な活動を促進し、市内5区においてクラブ設立となり、未設立の川崎区及び宮前区においても設立準備会が組織され、全区におけるクラブ設立の基盤を作りました。 市内のスポーツに関する地域資源を広範囲で有効活用する、広域型スポーツクラブ設立に向けた支援を行いました。 			

施策計画

施策計画名	現状	目標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 多摩スポーツセンターの整備 市民の健康増進及び体力の向上を図る地域のスポーツ拠点として、多摩スポーツセンターを整備します。	●PFI手法による整備推進に向けた取組	●多摩スポーツセンター用地取得 ●基本・実施設計	●建設工事着手	●完成・開館	
第2期実行計画 実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業者に対する事業モニタリングを実施しました。 ・多摩スポーツセンターが3月26日にオープンしました。 			
○ 日本陸上競技選手権大会の開催 日本陸上競技選手権大会の円滑な運営に向け、等々力陸上競技場の第1種公認化等に必要な施設整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●等々力陸上競技場整備工事 ●等々力緑地中央グラウンド整備工事 ●陸上競技備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ●円滑な大会運営に向けた施設整備 ●等々力陸上競技場及び中央グラウンドの第1種及び第3種公認手続の実施 			
第2期実行計画 実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> ・第1種及び第3種公認の取得と、仮設記者席・防風対策シート等の設置及び備品の購入・リース・修繕等の準備を実施し、6月26日から29日の4日間で第92回日本陸上競技選手権大会・第29回オリンピック競技大会代表選手選考競技会を開催しました。 			
○ スーパー陸上競技大会2008の開催 地域スポーツ活動の振興を図るとともに、スーパー陸上競技大会開催と連携したスポーツ振興に取り組めます。		●スーパー陸上競技大会2008開催と連携したスポーツ振興の取組の実施			
第2期実行計画 実施結果	達成状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー陸上競技大会を毎年開催することができ、市民への陸上競技に対する関心を高めることができました。 ・プレ、サブ、アフターイベントを実施し、多くの市民の参加を得て、誰でも気軽にできるスポーツとして啓発を促すことができました。 			

施策計画

施策計画名	現状	目標				
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降	
アクションプログラム：多摩川プランに基づく重点施策の推進【達成状況区分： 3】						
○ 多摩川プランの推進 市民団体等と連携しながら、多摩川における豊かな河川空間の創出をめざす「多摩川プラン」の推進に取り組みます。	●多摩川プランの策定 ●多摩川プラン推進会議の運営 ●二子橋周辺エリア整備	●多摩川プラン推進会議の運営 ●二子橋周辺エリア整備 ●等々力・丸子橋地区周辺エリア整備				事業推進 ●マラソンコース整備完了(2013年度)
	●簡易水洗トイレ設置	●簡易水洗トイレ設置 ●マラソンコース整備			●上平間・古市場周辺エリア整備	
	●幸区船着場周辺への植樹	●大師河原周辺エリアへの植樹 ●国のスーパー堤防や沿川市街地整備等にあわせた関係者との協議による並木の創出				
	●二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働	●二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働 ①「かわさき多摩川博」の開催など	●二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働 ①「かわさき多摩川博」の開催 ②二ヶ領せせらぎ館開館10周年記念事業 など	●二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働 ①「かわさき多摩川博」の開催など		
	●多摩川プランの推進 ①多摩川鮎再生事業 ②「ふるさと資産・遺産」活用事業 など	●多摩川プランの推進 ①多摩川鮎再生事業 ②「ふるさと資産・遺産」活用事業など				
	●水辺の楽校(かわさき、とどろき)2校の支援(宿河原、等々力)	●水辺の楽校(かわさき、とどろき)2校の支援(宿河原、等々力) ●市内3校目の水辺の楽校の設立準備(大師河原)			●市内3校目の水辺の楽校の設立(大師河原)	
	●水防センターの管理運営	●水防センターの管理運営				

第2期実行計画
実施結果

達成状況区分
3

- ・水防センターは市民との協働により来館者を増やすことができました。
- ・市内3校目の水辺の楽校を開設することができました。
- ・多摩川エコミュージアムは、これまで、NPO法人と3ヵ年(2008年度～2010年度)の協働の協定書に基づき、市民の目線に立った事業を実施することができ、多摩川の魅力発信ができました。
- ・大師河原地区における植樹については国の治水事業の遅れや内容変更が生じたため、計画を変更し、一部区間の植樹を実施しました。
- ・沿川市街地の整備などにあわせた植樹を民間事業者等と調整を行い植樹を実施することができました。
- ・「川崎市多摩川プラン推進会議」による「多摩川プラン」の施策の進行管理・評価等を行いました。
- ・多摩川プランの重点エリアの設計・整備等を行いながら、重点エリアの一つでもある二子橋周辺のバーベキュー問題の対策を進めるために社会実験を実施し、実施結果を踏まえた「多摩川河川敷バーベキュー適正利用計画」を策定し、2011年度から有料化による本格実施を行います。
- ・多摩川景観形成ガイドラインにおける重点地区の基準を定め、景観法による届出や、地区計画における形態意匠条例の制定等により活用しました。

施策計画

施策計画名	現状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

アクションプログラム：地域の魅力発信・活性化と連携した文化芸術振興【達成状況区分： 3】

○ 文化行政の推進 文化芸術振興計画に基づき、文化芸術振興施策を総合的・計画的に進めます。	●「文化芸術振興計画」の策定 ●文化アセスメントの検討 ●「音楽のまちづくり」の施策の総合的評価に向けた検討・調整	●計画に基づく文化行政施策の推進 ●文化アセスメントの試行実施 ●評価に向けた事前調査	●文化アセスメントの本格実施 ●評価に向けた本調査	●文化アセスメントの推進 ●評価結果の公表	事業推進
---	---	---	------------------------------	--------------------------	------

第2期実行計画 実施結果

達成状況区分
3

- ・文化芸術振興計画に基づく事業の進捗状況を管理し公表しました。
- ・文化芸術振興会議による文化アセスメントの検討と実施を行いました。
- ・市民参加による美術展、コンサート等を開催しました。

○ アートを活かしたまちづくりの推進 市民の芸術文化の創造・発信・交流を促進するとともに、メディアアートや市民によるアートプロジェクトなどの創造的活動を促進し、アートを活用したまちづくりを推進します。	●「アートセンター」の開館 ●「芸術のまちイベント」開催に向けた検討	●青少年舞台芸術活動等の創造的事業の実施 ●アーティストの育成 ●「芸術のまちイベント」開催に向けた検討・調整	●「芸術のまちイベント」の開催	事業推進
--	---------------------------------------	---	-----------------	------

第2期実行計画 実施結果

達成状況区分
3

- ・青少年舞台芸術活動をはじめとした芸術文化の創造、発信及び交流を促進する多彩な事業や、アーティストを支援する取組等により、芸術文化の創造、発信及び交流を促進し鑑賞の機会を提供する施設としての取り組みを、指定管理者により実施しました。
- ・市民が芸術を身近に享受できる機会をつくり、市民全体の芸術活動を促進するために、市域全体により良い効果をもたらす文化芸術を活かしたまちづくりを推進しました。また、芸術祭を支える市民ボランティアの養成を行うなど、文化芸術を活かしたまちづくりを支える人材育成を行い、市民主体の芸術活動を促進しました。

○ しんゆり・芸術のまちの推進 新百合ヶ丘駅周辺地区を中心に、芸術を通じた魅力と活力あるまちづくりを推進します。	●「KAWASAKIしんゆり映画祭」の開催 ●地域メディア、インターネット等による情報発信 ●新百合ヶ丘駅周辺に案内板(サイン)の設置	●「KAWASAKIしんゆり映画祭」の開催 ●地域メディア、インターネット等による情報発信 ●総合的な案内板(サイン)等の整備	事業推進
--	---	---	------

第2期実行計画 実施結果

達成状況区分
3

- ・市民ボランティアがかかわり、市民の手づくりによる「KAWASAKIしんゆり映画祭」を毎年開催したことで、個性豊かな地域づくりに貢献することができました。
- ・「しんゆり・芸術のまち」PR委員会、「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムからNPO法人しんゆり・芸術のまちづくりへと事業展開が進みました。

○ 藤子・F・不二雄ミュージアムの整備 藤子プロから寄贈予定の「藤子・F・不二雄ミュージアム」を関係事業者と連携し、開館に向けた取組を進めます。また、藤子氏の作品の有効活用を図りながら、市北部の新たな魅力の発信拠点となるよう整備します。	●整備に向けた基本合意の締結 ●立地場所の決定 ●関係事業者との基本構想の調整 ●かわさき市民祭りと連携したイベントの実施	●覚書の締結に向けた関係事業者との調整 ●関係事業者との基本計画の調整 ●プレイベントの開催	●覚書に基づく事業推進 ●関係事業者との基本設計・実施設計の調整 ●文化施設の寄附行為に対する藤子プロとの調整	●開館(2011年秋) ●工事着手 ●新たな文化施設の設置条例の制定
--	--	--	---	--

第2期実行計画 実施結果

達成状況区分
3

- ・市と藤子プロ等との間で締結した覚書や、基本計画などを踏まえ、平成23年9月3日の開館に向けて、着実に事業を推進しました。
- ・藤子プロ等が建設する建物の負担付きの寄附議案、公の施設の設置条例、指定管理者の指定議案について、議会の議決を得ました。
- ・藤子プロ等が行う建物工事について推進を図るとともに、本市が行う敷地内及び周辺の基盤整備に着手しました。
- ・プレイベントを開催するなど、ミュージアムの広報を行いました。

施 策 計 画

施策計画名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 青少年科学館の改築整備 青少年科学館の再整備に加え、生田緑地のビジターセンターや総合インフォメーション、レストハウスを整備します。	●基本計画	●基本設計	●実施設計	●工事着手	●完成・開館 (2011年度)
第2期実行計画 実施結果 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成状況区分 3</div>		・実行計画に基づく基本設計・実施設計・工事着手に取り組み、事業を遂行しました。			
○ 映像のまち・かわさきの推進 映像関連の民間の動きとの連携により本市の魅力を発信し、映像を核としたまちづくりを推進します。	●映像のまち・かわさき推進のための調査研究、モデル事業の検討	●「(仮称)映像のまち・かわさき推進フォーラム」の立ち上げ ●フィルムサポートの立ち上げ ●モデル連携事業の実施 ●アジアとの連携事業	●(仮称)映像のまち・かわさき推進フォーラム運営支援事業 ●フィルムサポートとの連携		事業推進
第2期実行計画 実施結果 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成状況区分 3</div>		・「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動を積極的に支援し、様々な事業を実施しました。 ・フィルムサポートを立ち上げ支援を行い、立ち上げ後は連携した事業を実施しました。 ・映像関連ビジネスネットワーク化モデル事業を実施しました。 ・アジアとの連携事業を実施しました。			

施策計画

施策計画名	現状	目標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

アクションプログラム：シティセールスの推進と観光振興【達成状況区分： 2*】

<p>○ 観光の振興</p> <p>多様な広報戦略を展開し、観光による市内への集客を推進するとともに、観光協会、商工会議所、市内企業等と連携して産業を核とした地域観光資源の創出・拡充を図ります。</p>	<p>●パンフレットなどによる情報発信</p> <p>●主要駅での観光情報案内の実施</p> <p>●ビジット・ジャパン・キャンペーン関連事業の実施</p> <p>●かわさき市民祭りの開催</p> <p>●「産業観光読本」の発行、「産業観光検定」の実施</p>	<p>●パンフレットなどによる情報提供・情報発信</p> <p>●主要駅での観光情報案内の実施</p> <p>●外国人観光客の受入態勢の整備</p> <p>●かわさき市民祭りの開催</p> <p>●産業観光検定の実施</p> <p>●産業観光モニターツアーの試行実施</p>	<p>●パンフレットの見直し等による提供情報の充実</p>	<p>●提供情報・情報発信手法の見直し</p>	事業推進
					●民間事業者による産業観光ツアーの事業化

第2期実行計画
実施結果

達成状況区分
2*

(参考)当初の目標
に対する達成状況

達成状況区分
2

・パンフレット・ホームページ・携帯サイトなど多様な媒体を活用し、情報発信を強化するとともに、主要駅(川崎・登戸)に配置する観光情報端末により、来訪者に対する観光情報案内を実施しました。

・外国語パンフレット・ホームページの作成、VJC事業の実施、羽田空港6県市観光情報センターの運営などにより、外国人観光客増に向けた取組みを実施しました。

・市民祭りを開催し、地域の活性化を図りました。

・民間事業者による産業観光ツアーの事業化については、2011年度以降の予定であったが、2年前倒しの2009年度から事業化することができました。

・当初の予定になかった長八海運と連携した「川崎工場夜景屋形船クルーズ」を2010年1月から、JTB首都圏川崎支店とはとバスと連携した「川崎工場夜景バスツアー」を2010年4月から定期運航(定期運行)を開始し、大人気となり計5,000人以上の観光客が参加しました。

・室蘭市、四日市市、北九州市と連携し、当初の予定になかった「全国工場夜景サミット」を全国で初めて開催し、多数のマスメディアの報道を通じ、川崎市の産業観光を全国的にPRすることができました。

・産業観光ツアーや川崎産業観光検定など川崎の産業観光の取組が高く評価され、2008年度には日本観光協会等が主催する第2回産業観光まちづくり大賞で銀賞を受賞するとともに、川崎の産業観光の取組がテレビ・ラジオ・雑誌・新聞で多数取り上げられ、川崎市のPRに大きく貢献しました。

・川崎の産業観光の取組が全国の先進事例として紹介されるまでに大きく成長しました。

【環境等の変化・課題等】

・平成22年度の目標は、「産業観光ツアーの事業化の検討」でしたが、関係機関への働きかけにより、平成21年度より2年前倒しで産業観光ツアーが事業化されているため、目標を変更しました。

【変更後の目標】

・提供情報・情報発信手法の見直し(全国工場夜景サミットの開催)

・外国人観光客の受入体制の整備(羽田空港6県市観光情報センターの設置)

・産業観光ツアーの実施(工場夜景屋形船クルーズ、工場夜景バスツアーの定期運航(運行)の開始)

○ シティセールスの推進

さまざまなメディアの活用や民間事業者との連携により、海外も含め、市内外に向けたシティセールスを推進します。

●専門紙(誌)・フリーペーパー等の活用によるシティセールスの推進

●イメージアップ事業認定制度の推進

●放送・出版関係者を対象にしたメディアツアーの実施

●専門紙(誌)・フリーペーパー等の活用によるシティセールスの推進

●イメージアップ事業認定制度の推進

●メディアツアーの拡充

●海外向けパブリシティ活動の実施

●情報の多言語化による情報発信の検討・実施

●メディアツアーの推進

●海外向けパブリシティ活動の推進

●情報の多言語化による情報発信の推進

事業推進

第2期実行計画
実施結果

達成状況区分
2

・パブリシティ活動を軸とした積極的な情報発信を随時実施し、広告換算額で毎年10億円を超える露出を得ることができました。

・イメージアップ事業認定制度等により民間と連携した魅力づくりや情報発信を進めました。

・情報の多言語化を進め、海外向けのパブリシティ活動を積極的に行うなど、海外向けの情報発信を強化しました。